

# 「市民と議会の意見交換会」（令和5年11月開催）アンケート集計

◆アンケート集約数 42件（うちWeb回答：5件）

内訳					
中央公民館（総務委員会班）	11月10日（金）	19時～21時	参加者	10人	9件
美園地域センター（生活文教委員会班）	11月8日（水）	19時～21時	参加者	11人	10件
中央公民館（厚生委員会班）	11月9日（木）	19時～21時	参加者	11人	12件
小川町二丁目地域センター（環境建設委員会班）	11月6日（月）	19時～21時	参加者	12人	11件

## 属性

### ○お住まい

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
中島町	1				1
上水新町	2	1		1	
たかの台	0				
小川町	7	1		3	3
栄町	0				
小川西町	1				1
小川東町	2				2
上水本町	1				1
上水南町	3	1	1	1	
喜平町	0				
津田町	1	1			
学園西町	3	1		2	
学園東町	0				
仲町	1		1		
美園町	1				1
回田町	0				
御幸町	0				
鈴木町	2		2		
天神町	1			1	
大沼町	1		1		
花小金井南町	1		1		
花小金井	8	3	3	2	
市外	1				1
未記入	5	1	1	2	1
計	42				

### ○年齢

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
10代未満	0				
10代	0				
20代	0				
30代	2			1	1
40代	5	1	1	3	
50代	10	2	2	3	3
60代	8	2	1	2	3
70代	16	4	5	3	4
80歳以上	1		1		
未記入	0				
計	42				

### ○参加回数

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
初めて	19	2	2	6	9
2～3回	9	2	3	3	1
4回以上	13	5	5	2	1
未記入	1			1	
計	42				

質問項目

1. 本日の意見交換会の情報を何で知りましたか。(複数回答可)

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
市報	11	3	3	3	2
議会報	10	1	2	4	3
ホームページ	2	1	1		
駅頭等での呼びかけ	0				
チラシ	19	2	7	4	6
【手にした場所】 (内訳)					
・ 公共施設	9	1	4	2	2
・ 自治会回覧	5		2		3
・ 自宅ポスト	2			1	1
・ 駅頭等での手渡し	0				
・ その他	1			1	
・ 未記入	2	1	1		
ポスター	3	1		1	1
政党、議員のホームページ等	9	3	1	3	2
知人に誘われて	5	2	1		2
その他 ・ 市議のSNS	1		1		

2. 意見交換会を開催する会場について希望があれば教えてください。(複数回答可)

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
自宅の近く	14	1	4	5	4
駅の近く	6	3	3		
駐車場のあるところ	10	3	1	4	2
どこでもよい	9	2	2	1	4
未記入	1			1	
その他	6	1	1	2	2
・ 中島地域センター ・ 地域センターで可。 ・ 公民館 ・ 公共施設					

3. 参加にあたり一番ご都合のよい曜日と時間帯を教えてください。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
平日午前	3		2		1
午後	4	2	2		
夜間	17	3	3	5	6
土曜午前	6	1	3	2	
午後	11	3	4	4	
夜間	2		1	1	
日曜午前	6	1	3	2	
午後	5	1	3	1	
夜間	3		2	1	
祝日午前	1		1		
午後	1		1		
夜間	1		1		

4. 本日の意見交換会開催の曜日についてはどうでしたか。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
良かった	34	8	6	10	10
未記入	4	1	3		
別の曜日のほうがよい	2		1	1	
その他	2			1	1

・早めに開催案内をいただければ何曜日でも良い。  
 ・いつでも可です。  
 ・平日は働いていると難しいです。

5. 本日の意見交換会開催の時間帯についてはどうでしたか。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
良かった	29	6	6	8	9
未記入	2	1	1		
別の時間帯のほうがよい	11	2	3	4	2

・午前中  
 ・午後  
 ・18:00または18:30からを希望。  
 ・18:00から  
 ・もう少し遅い方がいい。  
 ・もう少し早い時間。  
 ・主婦なので昼間の方が良い。

6. 本日の意見交換会の内容について

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
良かった	15	2	2	3	8
おおむね良かった	13	3	4	4	2
要望や意見がある	7	1	1	4	1
未記入	6	2	3	1	

7. 今後の意見交換会について、どのような開催方法を希望しますか。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
ハイブリッド会議方式	15	5	3	4	3
ウェブ会議方式	2	1	1		
会場参加方式	23	3	7	6	7
未記入	3	1		2	
その他	0				

8. 今後の意見交換会への参加について

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
ぜひ参加したい	21	6	5	5	5
できれば参加したい	18	2	5	5	6
参加しない	1			1	
未記入	2	1		1	

9. 市議会だよりについてお聞きします。

(1) 「市議会だより」を読んだことがありますか。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
毎回読んでいる	28	6	9	8	5
ときどき読んでいる	10	2	1	3	4
読んだことがない	2				2
未記入	2	1		1	

[読んだことがある方にお聞きします。]

(2) 内容についてはいかがですか。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
わかりやすい	12	3	5	3	1
まあまあわかりやすい	25	5	4	8	8
わかりにくい	1		1		
未記入	2	1		1	

(3) 紙面についてはいかがですか。

	合計	中央 (11/10)	美園 (11/8)	中央 (11/9)	小川 (11/6)
文字が多い	2		1		1
ちょうどよい	29	5	6	10	8
未記入	6	3	1	2	
その他	3	1	2		

- ・ 議会での質問答弁の内容が簡単すぎる。
- ・ 高齢のため、読むのがしんどい。
- ・ 文字が多いわりに、例えば「議案等に対する各議員の賛否」について議案の概要や賛否の理由が不明であるなど、肝心の情報が記載されておらず、これでは「市民が議会及び市政への関心を高めるよう議会広報活動の充実強化に努める」ことを議会に課している小平市議会基本条例第7条第2項の規定を十分に満たしているとはいえないと考える。

自由記入欄 ご意見、ご要望又はご感想がございましたらご記入ください。

**【総務委員会班】**

1. 私は病人です。11月10日の総務委員会班に出席しようとしたのですが、熱が出てしまって、参加できませんでした。Zoomを使ったハイブリッド方式だったら、参加できました。会場で発言したかったことを、インターネットのフォームから投稿しようとしたら、「すでに回答済み」と言われました。スマホから入力しています。市長へは、「市長への手紙」でいつでも意見を言えるのですが、議員に意見が言えるチャンスが少ないです。何度も言えるようにしてください。たくさん言いたいことがあります。
2. 精神障害者です。小平市には国立精神・神経医療研究センターが約80年前からあり、精神病の重症者、希少疾患の患者が住んでいます。しかし、長期総合計画等を見ると、「特にそんな施設はなく、精神病の患者の分布に特異はない」という感じです。まず、長期総合計画にちゃんと、「小平市には国立精神・神経医療研究センターがあり、精神病の重症者・希少疾患の患者が住むという地域特性がある」と書いてください。また、長期総合計画を改正したら、下位計画のこだいら健康増進プラン、自殺対策計画、障害者福祉計画等にも、精神障害者に関する対策を加筆してください。
3. 国に「小平市には国立精神・神経医療研究センターが精神障害者の重症者・希少疾患の患者が住んでいます。」と主張して、精神病モデル特区等に指定してもらって、補助金をもらってきたいと思えます。そのお金で保健師を増員する等すればいいです。
4. わが国は精神科病床数、全国の精神科病院のベッドの数を足した数が30万床で世界最多です。30歳以下の死因の一位は自殺です。自殺・精神病対策は、一刻の猶予もならない社会課題なのですが、市議会議員に、「精神病を無視して、身体科の病気だけ考えればいい」という考え方の人が多いです。重要視してください。
5. 障がい者支援課に精神保健福祉相談に対応している保健師がおり、その者が、業務改善・政策立案に熱心ではありません。どんな支援をやれば、精神障害者の健康増進ができるのか、業務改善・政策立案をやらせてください。
6. こだいら健康増進プランや自殺対策計画の学識経験者として、国立精神・神経医療研究センターに声をかけてください。国立精神・神経医療研究センターの人が研究所にひきこもって外に出ないのだから、「立地自治体の保健計画なんだから、知恵を貸しなさい」と言って、連れ出してきてください。国立なんだから、立地自治体の保健計画ぐらい手伝え。精神科病床数30万床とか、30歳以下の死因の一位が自殺というのは、国立精神・神経医療研究センターが実効性のある知恵を出せていないのです。「もっと働け」とせつついてください。
7. シティ・プロモーションをやりたいみたいですけど、私は個人で小平市の精神病対策のひどさについて、告発するツイッター・アカウントをやっています。市で、「すてきなまちですよ」と発信しても、マスコミに不祥事は報道されるし、SNSで告発も出る時代です。市のあり方について、建前的な広報をするよりも、市が実直な市政運営をして、市民から「いい街だ」とツイッターに書かれる方が健全だと思います。シティ・プロモーションにお金をかけるのは、無駄だと思います。予算を削って、保健師を増員してください。
8. 市長や市議会議員選挙の2か月ぐらい前に、立候補者手続き等説明会が開催されると思います。そこで厚さ5センチぐらいの資料が配布されると思います。その資料を図書館に納入し、市民が閲覧できるようにしてください。サラリーマン等が、「おれが立候補する」と思ったときに、資料が選挙2か月前のその説明会でしか入手できないです。図書館でいつでも読めるようにして、政治のど素人でも立候補できるようにしてください。また、図書館に納入されていないと、点訳等ができないので、障害者の知る権利を妨げていると思います。
9. 厚生委員会班が、ときわ会の取り締まりにやる気がなかったです。自殺未遂をやった人が出ているみたいなのに、市議会議員は職務怠慢です。小平市特有の精神病政策研究ということが出来るチャンスなのに、市議会議員に熱意がないので残念です。
10. 総務委員会班が「街を作る！」と意気込んでいますが、街には骨格があり、それに基づいたまちづくりしかできません。例えば小平市には中央線みたいな、たくさん乗降客がある線路がないです。人をたくさん呼びこむイベントはできません。もともと小平市にあるものを生かすのが賢いです。あまり「おれが街づくりをする！」と意気込まれると、パワハラっぽくなるので、ありのままの自然体がいいです。いらんストレスがかからないです。

11. 白梅学園大学等、大学人を地域に連れてくるのをやめてください。私はわいせつ教員被害者です。わいせつ教員被害とは、学校で教師が子どもをレイプすることです。他に、教師が子どもにお金を払ってセックスを買う児童買春があり、合意のことがあり、結婚してDVで別れる人もいます。精神障害者の居場所、例えば小平元気村の「ひだまり」等を利用したいのですが、白梅学園大学が市内のすべての障害者の居場所に入ってきたがります。彼らは、わいせつ教員被害者なんか、自殺に追い込みたいですよ。そうすれば、最初からわいせつ教員被害はなかったことになり、完全犯罪になるからです。大学人は大学があり、学会があり、本を書き、新聞やテレビでコメントをし、公民館に来て市民に説教し、政治家・政党の街宣に行くと政治学者が応援演説をしています。その上、地域の障害者の居場所を大学人に差し出したいわけですよ。私には障害者の居場所しかないのです。代わりに、私たち社会的弱者の側が、200円等の安価で、社会福祉学会等に登壇発表できるようにしてください。福祉現場で虐待された障害者が、福祉職はどんなふう利用者を虐待するのか、どのように支援をすればこちらはうれしいかを学会で発言できないと、支援技術は向上しません。
12. 今回は総務委員会班の意見交換会に参加したが、「人が創る！まちを創る！共に創る！」というテーマであり、他の委員会班の意見交換会におけるテーマと比べて抽象度が高く、また、意見交換に先立つ資料に基づく説明の中でテーマの趣旨や設定のねらいに関する説明がなかったので、参加した市民から寄せられた意見の内容が、後半の「市政全般」に関する意見交換における意見の内容とほとんど変わらないものになってしまったのが残念であった。次回は、その辺りのことについてぜひ工夫していただきたいと思う。
13. 市議会の本会議・委員会における議員からの質問に対する消極的な答弁内容や、（相次ぐ不祥事・問題事案の発生とそれらへの対応を含む）市民への政策・施策・事務事業に関する情報提供の不十分な内容・タイミングの遅さなどを踏まえ、市長をはじめとする執行部側の議会・市民に対する応答性の低さを私見として指摘し、それに対する見解と議員としての対応策を議員の一人一人に尋ねようとしたところ、ある一人の議員から「議会は合議制の機関であるため、意見交換会の場で各議員の見解を述べることはできない」という趣旨の発言があった。私自身いくつかの基礎自治体の議会報告会に住民として参加し、議員の一人一人に対して見解を問う質問をしてきたが、今回のような反応があったのは初めてであり大いに違和感を抱いた次第である。なお、小平市議会ホームページによれば、今年7月16日に開催された意見交換会では「新しい議会の課題について各議員から答えてほしい」という質問があり、各議員から回答がなされたことが記載されているが、こうした実績と整合性を欠いているのではないかと。小平市議会において議会報告会について本当に上記のような取扱いがなされているのであれば、ホームページ等に明記して市民にあらかじめ広く示す必要があるが、そもそも議会としての統一した見解を求める質問ではないにもかかわらず、合議制の機関であることを理由とするのは全くもって根拠を欠いた取扱いであると考え。いずれにしても、議会報告会に関する上記のような取扱いについては、議会運営委員会や広聴広報特別委員会などの場で検討し、見直すことが不可欠であると考え。
14. 意見交換会なので、より多くの市民とより多くの議員と意見の「交換」をしたいのです。一問一答の形では意見の交換はできにくい。少人数の小グループに分かれてじっくり交換をしたい。対面式ではない方が良いのでは。
15. 請願を出して、議会で採択されても実現されない武道館延長使用。西部は体育施設が多いが、東にも体育館を作ってください（東部公園プール改修時に）。
16. 市役所の人件費が増えても、しっかり市民の声や困りごとを解決するため拡充してください。
17. サラリーマンの立場からすると、平日の19時からという時間帯は参加しやすいスケジュールだと思う。場所も市民全体を考えると駐車場、自転車駐車場もあって中央公民館がベストだと思う。

#### 【生活文教委員会班】

18. 白梅学園大学の人を地域に連れてこないでください。私はわいせつ教員の被害者です。わいせつ教員被害とは、学校で教師が子どもをレイプすることです。ほかに買春することがあり、合意のことがあり、結婚してDVで別れることがあります。白梅学園大学の人を地域に連れてこられると、福祉現場でけんかが起きます。「大学人を尊敬すべきで、わいせつ教員被害なんて、黙れ無礼者」と怒鳴られます。それが原因でPTSDを受傷したり、発熱、動悸などが起きます。それを苦に自殺したいと思っています。白梅学園大学の人を連れてこないでください。
19. 委員会のライブ中継をお願いしたい。議事録の収録を早めてほしい。遅すぎる。
20. 参加市民の質問についてのお答えが不十分なところがありました。防災についてもっと知識を持ってほしいと思います。
21. 会場の作り方として、意見を言いにくい形式でした。全体としてコの字型にするとか、グループに分けるとかしてほしかったです。

22. 後半の、行政に対する（市政全般）意見交換では、あまり意見交換にならないと思います。
23. みなさん（議員の方）は関心があるのでしょうか？小平市は関心を持っているのでしょうか？なんかがっかりしただけです。自助しかないのだろうかと思いました。
24. 中央エリアの建て替えは交通が不安。東部公園プールは夏の3か月でもったいなかった。室内プールにして学校優先で良いが、市民の体育施設もぜひ併設してほしい。
25. 意見交換会なので、小グループで議員さんとじっくり意見交換したかったです。とても充実した会です。今後とも実施してください。
26. 意見交換会の開催ありがとうございます。初めて参加しました。もう少し建設的な意見交換ができると良いと思いました。個人的な要望が多く違和感を覚えました。
27. 意見交換の題材選定を市民の関心事を十分検討し、決定してほしいし、参加議員の準備も十分してほしい。今後の活動はもとより、議会活動にも資するものを要望。
28. 自治会がないし、何の対策もない地域に住んでいます。出席して、皆さんの意見を聞いて大変良かったです。何も分かりませんが、皆さんの話を聞いていると、市民の声より、決まった設備の建設や取り壊しが行われているような気がします。（例. 小平図書館、隈研吾、古くは小平市役所。（取り壊し、花小金井武道館等））

#### 【厚生委員会班】

29. 9日に開催した厚生委員会班についてです。私はいままで何回か、市民と議会の意見交換会の厚生委員会班に行ったことがあります。いつも思うのは、市議会議員が敵対的、塩対応だということです。私が意見を述べても、市議会議員から、「意見を述べるな」「福祉を拡充しないぞ」という敵対的な姿勢を感じます。前回、令和4年11月6日に、東部市民センターでこども未来会議について話したときは、定時より前に、会を打ち切って、解散したと思います。市民から意見が出なさすぎて、早めに解散しました。それは、市民が意見を活発に言いにくい雰囲気、市議会議員が作ってしまっているからです。今回の厚生委員会班では、冒頭で、〇〇さんという女性が、「一問一答方式のようだ。これでは、市民が心理的に意見を言いにくい。グループディスカッションにすると、場が盛り上がり、市民から意見がたくさん出ると思うがどうか？」という提案があったと思います。それは〇〇議員によって、「このままやりたいです」と否定されたのですが、〇〇さんがああいう提案をしたというのはわかります。市議会議員がパワハラ的です。市民に対し、敵対的な雰囲気を出されてしまうと、私たち市民は萎縮し、意見を言いにくくなります。私は精神障害者で、自殺をしたいのですが、市議会議員がパワハラ的なので死にたいです。君たちが小平市の健康悪化要因です。あなたたち議員は、月55万円ぐらい議員報酬をもらっているみたいですが、まず自分たちが、市民の心身の健康を増進するような議員活動をやってください。人々の気持ちが明るくなり、うつ病患者が、「今日は自殺をするのをやめて、もうちょっと生きてみようかな」と思える議員活動をやってください。私は病人で、肥満です。市民と議会の意見交換会に行くのも運動なのです。昨日、厚生委員会班に参加したら、7,000歩歩きました。今日は体がやや疲れていて、さわやかです。今晚は、総務委員会班があるみたいですが、ウォーキングがてら、行ってみようと思っています。「市民に、市民と議会の意見交換会に来てもらう」ということ自体が市民の健康を増進します。市議会議員は、来場者を歓待してください。発言することを奨励してください。私は何度か発言して、そんなに予算がかからない、小さな予算でできる保健政策を提案しています。いつも「ご意見として受け止めます」と流されてしまいます。市議会議員は、私のお気持ちの問題にしたいみたいですが、まさに精神的ストレスを問題にしているわけです。ストレスのきつくない市政運営、議員活動をしてほしいです。

30. 私は精神障害者です。なので、大きな精神病院（国立精神・神経医療研究センター）がある小平市にわざわざ住んでいます。特に厚生委員会班に強く言いたいのですが、市議会議員が精神障害者虐待的です。自分がパワハラするので、私は健康を害し、病院に通院するはめになって、小平市の医療費を増やしています。9日の厚生委員会班の席上でもマイクを持って発言したのですが、以前、ある市議会議員に、「体調が悪く、国立精神・神経医療研究センターに紹介状が出ているが、入院できない」と市政相談し、事務所で働かされたことがあります。私は、血がだらだら流れていないのですが、具合が悪いのです。精神科医が私を診察し、「具合が悪い」と判断したから、紹介状が出ているわけです。血がだらだら出ていないからと言って、医師でもない人が勝手に「この人は健康人」と決めつけないでください。他に、ある会派の懇談会に参加して、敵対的な議論をされ、具合が悪くなって、後日、内科を受診したことがあります。脳がひりひりして、熱が出て、寝るしかなくなりました。近所の内科を受診しました。精神科医や臨床心理士は、私たち精神障害者に対して、傾聴という、「そうですね、大変でしたね。うんうん」と共感的に話を聞くということをやります。一方、議員は議会で賛成討論、反対討論等、「言論で殺してやる」ということをやっています。議員には、「つい、けんか腰で人と話そうとする」という職業病があり、精神障害者とは本質的に相性がよくないのだと思います。
- ある国会議員に、「深刻な精神病なのですが、国立精神・神経医療研究センターに紹介状がでているのに、入院できない」と相談して、あべこべに、「議員に政治的に調整してもらって、いい病院に入院しようとするのは、いったいいかがなものなのか？」という趣旨のことを、頭ごなしに言われたことがあります。私が、なぜ入院する必要があったかと言うと、私は学者の元愛人です。未成年の頃に京都にある、国立研究所の研究者と交際したことがあります。その者の研究不正によって、2017年に、「殺人事件を起こすことは正しい」と思う精神病（解離性遁走）になり、解離・発熱・大量発汗・疼痛・下痢を伴いました。その研究者は、「前にも頭のおかしい人が職場におしかけてきた」と言っていたので、その者の研究不正によって、解離性遁走が続発している恐れがありました。殺人事件を起こしたい精神病を、精神病院が入院させないと、小平市内で殺人事件が起きます。精神病院とは、自殺、殺人をした患者さんを入院させるために存在するのです。なぜ、国立精神・神経医療研究センターの医師が私を入院させないかと言うと、彼らも研究者なので、研究者同士、研究不正をもみ消すのでしょうか。医療機関はわいせつ教員被害者、医療過誤の被害者を診察しても、「うちに来るな」と追い払うということをやりたいです。そうすると、どれだけ具合が悪くても医師が診察しませんから、死亡や後遺症を負ったり、自殺の恐れがあります。
31. わいせつ教員被害者や医療過誤の患者が、医療を受ける権利を保障してください。精神科救急のときに、応召義務違反でちんたら民事訴訟なんかやっけてらません。弁護士に法律相談をしたこともあるのですが、弁護士もいつもの調子で、敵対的な議論をしてくれます。こっちは精神障害者だと言っているのに、やっぱり理詰めで話してくるのです。医療機関が、医療過誤や医師・学者からの研究不正、性加害等に起因した患者を忌避した場合には、医療機関の責任者を警察が逮捕できるとか、そういう仕組みを作ってほしいです。そして、精神病の患者は、脳を休ませるべきなので、こういう制度を立案するという頭脳労働も、議員は患者任せに押し付けしないで、自分で引き受けてほしいです。議員の仕事は、政策を調査したり、立案するのが仕事であり、その対価として、月給55万円を市は払っているわけです。自分がやるべき頭脳労働を、入院相当の精神病の患者に押し付けるのをやめてください。別の市議会議員に、「ある大学教授が地域の精神障害児・者に長年性暴力を振るっており、自殺者が複数出ている可能性がある」と市政相談をしたが、その議員が当該大学教授と同僚教授と仲良しで、市政相談はスルーされ、それからしばらくして、ある精神障害者が当該大学教授を殺人未遂して、その後、自殺したこともありました。議員自身が、諸悪の根源です。さわやかに仕事をしてほしいのですが。
32. 市（厚生関係各課、環境政策課）、議員、福祉専門職、以上と猫ボランティア団体が協議する場を作ってほしい。※高齢者（一人暮らし）のペット飼育放棄問題について（放棄するつもりがなくても飼育できない状況になることがある。）
33. ロの字のテーブル配置でディスカッション形式にしたほうが活発な意見交換になると思います。（環境建設委員会班がそうでした。）
34. 他の方の意見も拝聴して、とても興味深かったです。
35. 意見を言う会、質問する会だけではもったいないです。市民と議員の意見の交換をするいい機会ですので、より多くの方が気軽に発言できる仕掛けづくりが大切だと思います。小グループで、少人数の議員と少人数の市民で言葉のキャッチボールができれば良いのでは。
36. アンケートの結果を公開してください。

37. 精神障害者です。日本は精神科病床数30万床で、30歳以下の死因の1位は自殺です。小平市には80年前から国立精神・神経医療研究センターがあり、精神病の重症者・希少疾患の患者が住むという地域特性があります。なんですけど、市議会議員にメンタルヘルスは無視してよい、市民に我慢させるべきだという感じがあります。街に自分の顔のポスターを貼ったり、大勢の前でスピーチをする職業なので、精神が厚かましいというか、精神病になる人とは真逆なのかもしれませんが、何か精神病対策に問題意識を持ってください。
38. 自殺対策、子どものためのグリーンサポート、ぜひすすめてください!!
39. 福祉会館浴室の存続（有料でも良い）。
40. 思うところもあって参加してみましたが、テーマが広すぎて、発言しても実のある機会になるのか分からず、発言しませんでした。何がしたくて聞いている会なのか分かりにくかったです。各議員さんが何に取り組んでいるのか話して頂いたほうが良かったと思います。
41. 本日のテーマ以外のご意見が多く、皆様のお気持ちはわかりますが、テーマに関する意見について建設的な意見交換ができればと思いました。

#### **【環境建設委員会班】**

42. このような会を開いていることを初めて知りました。良い経験になりました。
43. 新しいごみ焼却場の性能について、東村山市、立川市の性能と比較した表を市報に載せてほしい。市民はどう思うか。ダイオキシン、ばいじんの数値を比べて市民に知らせてほしい。
44. 今回の企画、時間、場所…、設定が良かった。申込み制でないのが良い。
45. このような会を年に何回か開ければ、あった方が良い。（いろいろな方がいらっしゃるので、曜日、時間なども変えてできれば。）
46. 保育付きも良いと思いますが、21時終了（遅い）なので預ける方は少ない（参加が少ない）となるかもしれないと思いました。
47. 駅が多い市という特徴を生かし切れていない。もっと駅前と駅と駅をつなぐ街づくり政策をお願いします。
48. 市民の方の要望等を聞いて、全く知らなかった小平市の現状を知りました。参加して良かったです。ありがとうございました。
49. 限られた時間のため、定例会の報告は市議会だよりを参照いただいてはどうか。可能な限り、市民の生の声を聴いていただき、我々も議員各位の意見を直に伺いたい。
50. 2班に分かれての意見交換会場が狭く、隣のグループの音が気になり残念でした。
51. もっと小規模でも良いから開催回数を多くしてほしい。